

による健康づくりや他の老人クラブとの交流の場として使用したいとしている。また、社会福祉協議会でも埴川健康センターを利用して地域住民・団体・ボランティア等と行える事業を予定している。

なお、震災等の災害時には、寝たきりの高齢者や障害者など、一般の方より特別に配慮を要する方の避難場所である福祉避難所とすることとしている。



埴川健康センター

**意見16 あきた白神体験センターに県の支援を**  
県の指定管理を受けているあきた白神体験センターは指定期間の最終年となっているが、施設の運営にあたっては多額の町費負担となっており、県に対して応分の負担を求めること。

**回答** あきた白神体験センターの利用者状況について、直近である平成20年度、21年度、22年度の3年間を見てみると、年間の平均宿泊者数は4,657名（うち学校利用者：2,666名、49%）、日帰りの利用者数は年間5,250名となっている。施設利用収入では、年間平均14,380千円（内訳：宿泊使用料85%、体験料等の収入9%、日帰り使用料5%、その他1%）となっている。

これに対して支出を見てみると、職員給与を含む予算額全体では年間平均36,341千円を支出している。このうち、職員の給与、手当、共済費を除いた運営管理費だけをみても年間平均19,299千円が必要となっている。

町への経済効果として、食事・入浴で8,564千円（ハタハタ館）、弁当・食材等で1,601千円（町内各種商店）、自然ガイドや食づくり体験料等で2,284千円など、年間で計12,449千円の直接的な経済効果や、また、日帰りの宴会やお土産代等を推定すると、年間600万円を超える間接的な経済効果もあると算定している。

しかしながら、このような効果はあるものの、町の負担も大きいことから、平成24年度の県指定管理の再契約については、このような実績と現状を踏まえながら、できるだけ町費の負担を少なくするよう県に負担を求めていきたい。

## 議会事務局からお知らせ

議会からの情報をお伝えするため、町議会のサイトを開設しております。サイトでは最新ニュースや議事録等を掲載しておりますので、是非ご覧ください。アクセス方法は、次のとおりです。

八峰町ホームページ (<http://www.town.happou.akita.jp>)

→ 各課のページ → 議会事務局

て町外施設への流失を食い止めるよう努めること。

**回答** 広域入所に係る委託料は、児童福祉法の規定により一人当たり入所施設の運営費の1/2を国庫負担、1/4を都道府県負担、残り1/4を児童の属する自治体が負担することになっている。

本町では保護者の多くが能代市内に勤務しており、通勤に要する時間や勤務体制・時間、買い物等の関係で町内施設の利用が利便性に欠けるため、能代市内の保育施設を利用している状況にある。保育時間を延長して保護者の利便性を高めるためには、それぞれの施設に3~4人程度の職員を増員する必要がある。しかし、施設ごとの職員の配置と入園児数を見てみると3歳未満児は基準を満たしているものの、3歳以上児については基準を大幅に下回っており園児の充足率に差異を生じており、職員の労働負担を軽減・平準化する必要もある。

このような課題に対応するため、八森地区の子ども園の統合について検討しており、その中で保護者の要望に応えられるよう保育時間や保育内容、職員体制等について見直しを進めたい。



八森地区の子ども園の一つである岩館子ども園

**意見14 各種委託業務の一括発注について**  
町の施設にかかる警備保障や設備点検など

の様々な委託業務について、複数の施設分をまとめて一括発注することで経費の削減を図ること。

**回答** 各施設の保守管理を業務委託しているが、契約業務について130万円以下の物件は各課で対応している。

警備保障業務については、平成22年度で各施設の契約が終了することから、今まで1社による随意契約していたものを、今年度は3社による見積入札を行ない、長期継続契約を3年間実施している。子ども園のように同じ予算項目にある場合は5施設を一括発注している。また、エレベーター保守点検のように、業種によっては機器メーカーによる随意契約が行われている場合もある。

予算の設置項目により一括発注が難しいものもあるが、学校施設のように他の施設名を指名通知に併記し、合わせて提出してもらうことにより、一括発注と同じ効果があるものと思っている。

各施設の保守管理は専門の業者に委託しているが、その業種は17を超えている。今後も経費の増加が見込まれることから、根本的な対応、対策を検討していく。

**意見15 埴川健康センターの活用を**

診療所業務だけの埴川健康センターは十分な利用がされておらず、埴川地区の中心施設として有効活用を図ること。

**回答** 埴川健康センターについては、新庁舎完成に伴い出張所事務を廃止したことや職員配置をしていないこともあり、定期的に使用しているのは町営診療所分院部分となっている。町でも活用を図りたいと考えているが、今のところ使用は臨時的に行う行事等になっているため、今後は地域の皆さんや福祉団体等にも利用していただきたいと考えている。今年3月からは大沢老人クラブがユニカール場として使用しており、これからは冬場を中心としてユニカールなど